

2006年夏休みファミリーコンサート

モーツァルト&ポップスの饗宴

指揮と
お話し

堀 俊輔



昨年にも同じ出演

演奏：大阪センチュリー交響楽団

日時

2006年8月28日(月) 11:00開演

会場

NHK大阪ホール

※座席指定券の引き換えは、各生協で入場整理券を取り扱い、当日は10時より会場窓口で行います。

大阪市中央区大手前4-1-20
電話06-6937-6000

入場
整理券

生協特別価格

2,000円

小学校1年生以上一律料金

- ①座席数 1,400席(1階957席、2階443席)
- ②参加対象 一人でも参加できます。参加対象は小学1年生以上とし、学齢未満は入場できません。
- ③引き換え 各生協で入場整理券を取り扱い、当日会場で引き換えます。

— Program —

10:00 開場・座席券引き換え

11:00 開演・会長理事挨拶・演奏

オープニング◇ 歌劇「ルスランとリムドミラ」序曲(ケリカ作曲)

楽器紹介◇ 「運命」(ベートーベン「運命交響曲」より)



“生誕250年、モーツァルトの調べ”

セレナード第13番「アイネ・クライネ・ナハトムジーク」

休憩



“ポップスの祭典”

・「フィギアスケートの音楽からブッチーニ・メドレー」
(蝶々夫人・トスカ・トゥランドット)

・「季節の童謡メドレー」(富士山・こいのぼり・海・もみじ・冬景色)

・「宮崎駿アニメメドレー」

(千と千尋の神隠し・となりのトトロ・もののけ姫・天空の城ラピュタ)

13:00 終演



◇お申し込みは各生協までお問い合わせください。

◇電車・バスでお越しの方 地下鉄谷町線・中央線/「谷町四丁目駅」2番・9番出口すぐ/大阪市営バス「馬場町」バス停すぐ



指揮 **ほり しょうすけ**
堀 俊輔

早稲田大学を経て東京芸術大学にて作曲と指揮を学ぶ。

1984年指揮科卒業。直ちに読売日響、新日響、大阪フィル、京都市響、九響など主要オーケストラに客演。1987年東京交響楽団に入団。1990年東響特別演奏会で正式デビュー。1991年秋には東響世界ツアーに指揮者として同行、同時にシラキウス交響楽団定期を指揮、鮮烈なアメリカ・デビューも飾っている。

1994年「オラトリオ東京」創立。翌年旗揚げ公演ハイドン「天地創造」を音楽監督として大成功に導き音楽界に新風を巻き起こした。特にシューマンのオラトリオ「楽園とペーリ」のCDはレコード芸術誌において特選盤となり、話題を呼んでいる。

1999年文化庁在外研修員としてメトロポリタン歌劇場にて、レヴァイン、ゲルギエフの下でさらに研さんを積む。

古典から現代音楽まで広い守備範囲を持つが、特に声楽曲で評価が高く、オペラのほか合唱指揮者としても活躍。東響コーラス、東京シティ・フィル・コア、神奈川フィル合唱団などオーケストラ専属合唱団の創立指揮者としての手腕は特筆に値する。

2001年サンクト・ペテルブルク・ステート・アカデミー・オーケストラを指揮、演奏活動をロシアに広げた。2003年にはプロコフィエフ・コンクールの審査員として招へいされている。

軽妙なエッセイ集“ヘルベルト・フォン・ホリヤンの”「モーツァルトは振るべからず」に続き、「本日も満員御礼！」も大好評。エッセイストとしての人気も急上昇中である。

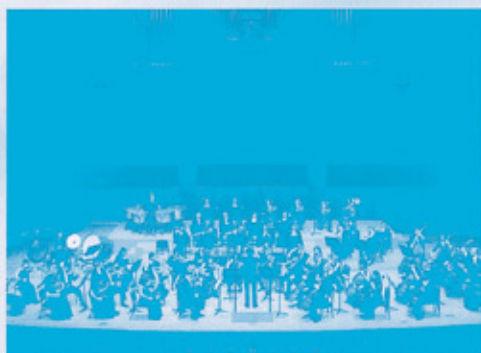
大阪センチュリー交響楽団は、大阪府民に親しまれ、府民の誇りとなるオーケストラをめざし、1989年（平成元年）12月、大阪府により設立され、財団法人大阪府文化振興財団が運営する2管10型（55名編成）のオーケストラです。

初代常任指揮者はウリエル・セガルが、1997年4月から高関健が常任指揮者を務めました。2003年4月からは首席指揮者に小泉和裕を迎えました。

バッハ、モーツァルト、ベートーヴェンなどのバロックや古典派の作品を中心に、近・現代曲も重要なレパートリーのひとつとし、定期演奏会等の自主演奏会だけでなく、出演依頼を受けての演奏会や、次代を担う青少年の情操をより豊かにするための音楽鑑賞教室にも積極的に取り組んでいます。

1993年、「大阪府民劇場奨励賞」、'94年、「ザ・シンフォニーホール国際音楽賞クリスタル賞」を受賞、また同年、アメリカ8都市で初の海外公演を行い、'96年、東南アジア5都市、'03年、「日中平和友好条約締結25周年記念公演」として杭州、上海で公演するなど、国際的にも活動しています。

私たち大阪センチュリー交響楽団は、クラシック音楽だけでなく心に響く音楽を皆様にお届けし、より良い音楽を聴く楽しさ、そしてコンサート



管 弦 楽

おおさか こうきょうがくだん
大阪センチュリー交響楽団

の素晴らしさを知っていただき、音楽にふれる機会を皆様のライフサイクルに取り入れていただければと願っています。

これからクラシック音楽が好きな方だけでなく、多くの人々に親しまれるオーケストラをめざして、今後も積極的な活動を続けていきます。